

チャペル週報

見よ、イスラエルを見守る方は
まどろむことなく、眠ることもない。

(詩編 121:4)



2009.9.28～10.2 No.15
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

9月28日(月) 関西学院創立120周年記念合同チャペル (西宮上ヶ原キャンパス)
「今も、そしてとこしえに」 Ruth M. Grubel (院長)
於：中央講堂

短大 聖書物語「どうしてこのわたしが」

9月29日(火) 神 岩 嵯 大 悟 (M1)
文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
社 いのちを考える② 山 泰 幸 (人間福祉学部准教授)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 新 倉 貴 士 (商学部教授)
教 田 淵 結 (宗教主事)
総 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)

9月30日(水) 神 深 渡 歩 (M2)
社 献血実行委員会によるチャペル
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 献血週間を覚えて 献血実行委員会
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 山 泰 幸 (人間福祉学部准教授)
理 秋学期理工学部開講礼拝「若き日に」尾崎幸洋学部長
総 細 見 和 志 (総合政策学部教授)
短大 矢 野 綾 都 (幼児教育学科2年)「バン格拉訪問報告」

10月1日(木) 神 上 田 直 宏 (M2)
文 田 淵 結 (教育学部宗教主事、宗教総主事)
社 いのちを考える③ Ruth M. Grubel (院長)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 岡 田 大 志 (商学部教授)
総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
短大 学生 Y M C A 「大島青松園訪問報告」

10月2日(金) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 餅 原 研 一 (M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 住 野 公 平 (人間福祉学部職員)
教 永 田 雄次郎 (学院史編纂室長)
理 「発想の逆転」松 木 真 一 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

10月2日(金)法科大学院のために 豊川 義明

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於：宗教主事室

『創立120周年をむかえて』

神 田 健 次

1889年9月28日、関西学院が神戸の原田の森で米国南メソヂスト監督教会のW.R.ランバス宣教師によって創設され、今年で120周年という記念すべき年を迎えました。神学部と普通学部からなる創立時の小さな学院が、今日、幼稚園、初等部、中学部、高等部、そして短期大学と10学部・2専門職大学院を擁する大学という総合学園に大きく成長してきた歴史を覚えますが、その中に数々の厳しい試練と苦難があり、多くの先達がそれを乗り越えてこられた足跡とその背後に神の豊かな導きがあったことを思わされます。

先月の4-6日、六甲のYMCAキャンプ場で神学部後援会主催の高校生のための献身キャンプが開かれました。今年で27回目を迎えた献身キャンプでしたが、今回は近くの再度公園の神戸市立外国人墓地にある創立者の父J.W.ランバス宣教師のお墓を訪れました。豊かな緑に囲まれた広大な墓地の一角に、格式ある先生のお墓があり、スタッフと高校生たちと共にしばらく追悼のときを過ごしてきました。

その追悼の間、3年前に中国におけるW.R.ランバス先生の足跡をたどって、上海、蘇州、北京、そして東北部の吉林を訪れた時のことを思い起こしていました。ランバス先生にゆかりの深い上海のムーア記念教会、蘇州で創立した傳習医院の跡（現在の蘇州大学付属第一病院）、中国を代表する北京協和医院、さらに最晩年に中国東北部からシベリアにかけての深刻な飢餓状況を救済するために二度にわたって調査旅行した跡などを訪れました。1921年9月26日、ランバス先生は二度目の四千マイル以上にも及ぶ救済調査の長旅で病を悪化させたこともあり天に召されますが、原田の森の学院で多くの教職員・学生に見送られ、さらに上海の教会で葬儀が行われた後、市内の外国人墓地に埋葬されました。その墓地は、戦後郊外に移されたのですが、文化大革命の影響もあり、現在は外国人墓地があった跡をたどることはできません。

医療、教育、伝道に及ぶランバス先生の幅広いお働きは、アジア、アフリカ、南アメリカなど世界的な広がり、国境の壁、人種・民族の壁を越えて人間に仕えるものであり、その生涯は文字通り「国籍は天に在り」（ピリピ書3章20節）という信仰に貫かれていたことを、この創立120周年の時に改めて心に刻む思いです。

(神学部学部長)

●RCC主催講演会のお知らせ

「小田実と歩いた世界」

講師：小中陽太郎（作家・評論家・翻訳家・星槎大学教授）

とき：10月5日（月）第4時限（15：10～16：40）

ところ：関西学院会館ベーツチャペル

主催：関西学院大学キリスト教と文化研究センター

●秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

期間：10月5日（月）～9日（金）

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち34人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

とき：10月10日（土）10時～16時（途中昼休憩あり）

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり

主催：吉岡記念館宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月20日（火）、11月17日（火）、12月15日（火）

いずれもランバス記念礼拝堂（上ヶ原）にて10：35～11：05

●盲導育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●書籍刊行のご案内

『キリスト教平和学事典』（2009年9月25日刊行）

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編、教文館

紛争、テロリズム、環境破壊、経済格差、差別問題、人権侵害、生命倫理問題——現代世界が直面する平和の諸問題をキリスト教の視点から分析し、キリスト教やキリスト教会が取り組むべき課題にどう対処していくかの理論と実践を解明。平和構築に向けた総合理解を試みる画期的な事典。全144項目、各界から86名の寄稿。

<特長>・キリスト教の視点による日本初の平和学事典。

・平和学研究・平和運動の第一人者を迎えた多彩な執筆陣。

・各テーマを掘り下げた大項目が中心で読み応えある記述。

・表・図版・写真など、ビジュアル資料約50点収録。

・付録に関連年表および人名索引・事項索引を掲載。

【A5判／448頁／定価8400円】 [ISBN 978-4-7642-4034-6 C3516]